

羽田空港対策特別委員会 案件一覧

(令和8年6月23日開催分)

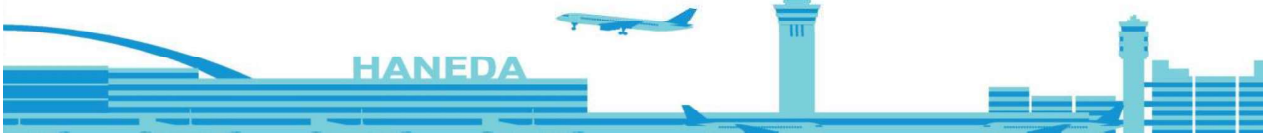
○所管事務報告 7件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
まちづくり推進部	1	羽田空港見学会の開催について	1	中山 空港まちづくり課長
	2	令和8年4月・5月の東京国際空港におけるゴーアラウンドについて	2	中山 空港まちづくり課長
	3	南風運用（15時～19時）に関わる騒音測定状況等について（令和8年3月）	3	中山 空港まちづくり課長
	4	羽田空港の機能強化について	7	中山 空港まちづくり課長
資源環境部	5	令和8年1月 大田区航空機騒音固定調査月報（確定）	4	小泉 みどり・環境保全担当課長
	6	航空機内陸飛行騒音調査について	5	小泉 みどり・環境保全担当課長
経済産業部	7	羽田イノベーションシティにおける取組報告について	6	中谷 イノベーション事業担当課長

羽田空港見学会 参加者募集

国土交通省では、羽田空港周辺の地域にお住まいの皆様
に羽田空港を知っていただけるよう、見学会を開催します。

国土交通省



開催日、見学場所

■全14回、12時30分から17時頃まで実施予定

2026年 8月22日(土)、28日(金)
9月 4日(金)、5日(土)、11日(金)、12日(土)、16日(水)、
18日(金)、19日(土)、26日(土)、30日(水)
10月 3日(土)、7日(水)、10日(土)

■見学場所 管制塔(展望室)、滑走路周辺、格納庫などの見学

※見学会当日の天候や空港運用の状況などにより、参加者の安全確保ができないと判断された場合は中止
もしくは見学内容を変更することがあります。



上のQRコード
からもアクセス
できます。

募集条件

■東京都、埼玉県、神奈川県内で以下の区市町にお住まいの小学生以上の方(小学生は保護者の同伴が必要)

東京都(港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区)

埼玉県(さいたま市、川口市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)

神奈川県(川崎市) **(※参加を希望される方全員が条件を満たす必要があります。)**

■募集定員 各回あたり定員40名 ※全応募者の中から希望日ごとに抽選し、当選者を決定します

応募要項(参加費無料)

※応募に関する詳細は裏面の記載事項をご確認下さい。

■応募方法 参加者全員分の①～⑦をご記入のうえ、ハガキまたは封書での郵送にてご応募下さい。(往復ハガキは不要です)
①氏名・フリガナ ②生年月日 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥e-mailアドレス⑦参加希望日(1日のみ)
※1組4名までご応募頂けます。同居家族で応募される場合は③～⑥は代表者のみで可能です。
※希望日が複数ある場合は、希望日ごとに1通ご応募下さい。(当選は希望日の中から1日のみとなります。)
※記載事項に不備がある場合や、同じ日に複数回の応募がある場合は応募が無効となります。

■応募先 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1

国土交通省東京空港事務所 環境・地域振興課 見学会担当 あて(郵送のみ受付)

■応募締切 **2026年7月10日(金) 消印有効**

■当選発表 当選者への連絡をもって発表とさせていただきます。(落選の通知は行いませんのでご了承下さい。)

当選案内は、応募締切り後に以下の日程でe-mailもしくは郵送によりお送りします。

その際に、参加に必要な手続き(身分証明書等必要な書類の提出)、集合場所の詳細等をお知らせ
します。

前半分の発表(2026年8月22日～9月16日開催分): 2026年7月27日(月)までに通知

後半分の発表(2026年9月18日～10月10日開催分): 2026年8月12日(水)までに通知

■集合場所 国土交通省 東京航空局 東京空港事務所

■注意事項 ※集合場所までの交通費は、参加者のご負担となります。

※お体が不自由な方など、お手伝いやサポートが必要な方は応募時にその旨を記入ください。

※当選された方以外の方が代理で参加することはできませんので、ご了承下さい。

※見学場所には、写真・動画の撮影ができないエリアもございますので、予めご了承下さい。

※ご提出頂きました個人情報は見学会開催に関する目的の範囲内のみ利用します。

■問合せ先 国土交通省 東京航空局 東京空港事務所 環境・地域振興課 見学会担当

T E L 03-5757-3021 受付時間: 09:30～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

※抽選結果に関するお問い合わせは受けかねますので、ご了承下さい。

○応募の記載事項

※記載に不備などがある場合、応募は無効となりますのでご注意ください。

- ① 氏名（フリガナ） ② 生年月日（西暦） （※参加希望日現在）
- 例）・羽田 太郎（ハナ タロウ）1990年〇月〇日（〇〇才）
・羽田 花子（ハナ ハナ）2001年〇月〇日（〇〇才）
（※4名様までご応募いただけます。） 計 2 名
- ③ 郵便番号 ④ 住 所
- 例）〒144-0041
東京都大田区羽田空港3-3-1
（※集合住宅にお住まいの方は、建物名と部屋番号もご記入下さい。）
- ⑤ 電話番号 ⑥ e-mailアドレス
- 例）（携帯）090-〇〇〇〇-〇〇〇〇
（※日中に連絡の取れる番号をご記入下さい。）

（e-mail）〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇〇
（※連絡先に間違いがある場合、当選のご連絡ができませんのでご注意ください。）
- ⑦ 参加希望日
- 例）2026年 〇 月 〇 〇 日 （ 〇 ）
（※希望日は1日だけご記載下さい。複数日にご応募されたい場合は、希望日ごとに1通ご応募下さい。）
（※当選は希望日の中から1日のみとなります。）
- ⑧ その他（必要な方のみ）
（※見学コースには階段や段差があります。
お手伝いやサポートが必要な方は、その内容をご記入下さい。）

- 応募先 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1
国土交通省東京空港事務所 環境・地域振興課 空港見学会担当あて（郵送のみ受付）
- 応募締切 **2026年7月10日（金）消印有効**
- 問合せ先 国土交通省東京航空局東京空港事務所 環境・地域振興課 見学会担当
TEL03-5757-3021 受付時間10:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

令和8年4・5月の東京国際空港におけるゴーアラウンドについて

(令和8年1～5月累計)

理由別	A滑走路北向き着陸		B滑走路西向き着陸		合 計	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
気象	18	27.3%	26	41.9%	44	34.4%
地震	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
バードストライク	13	19.7%	12	19.4%	25	19.5%
パイロット	0	0.0%	1	1.6%	1	0.8%
間隔不十分	3	4.5%	1	1.6%	4	3.1%
滑走路離脱遅れ	13	19.7%	12	19.4%	25	19.5%
機材	9	13.6%	7	11.3%	16	12.5%
その他	10	15.2%	3	4.8%	13	10.2%
合 計	66	100%	62	100%	128	100%

羽田空港対策特別委員会
令和8年6月23日
まちづくり推進部 資料2番
所管 空港まちづくり課

月別	A滑走路北向き着陸		B滑走路西向き着陸	
	回数	区内上空通過数	回数	区内上空通過数
1月	8	5	12	7
2月	16	2	5	1
3月	13	8	5	3
※4月	15	5	18	10
※5月	14	5	22	11
合 計	66	25	62	32

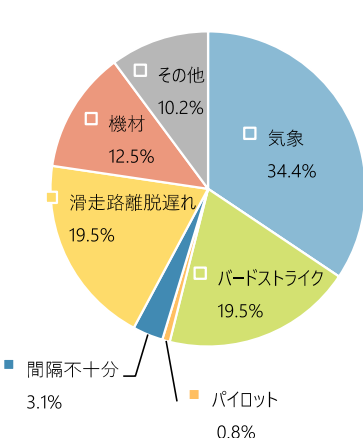
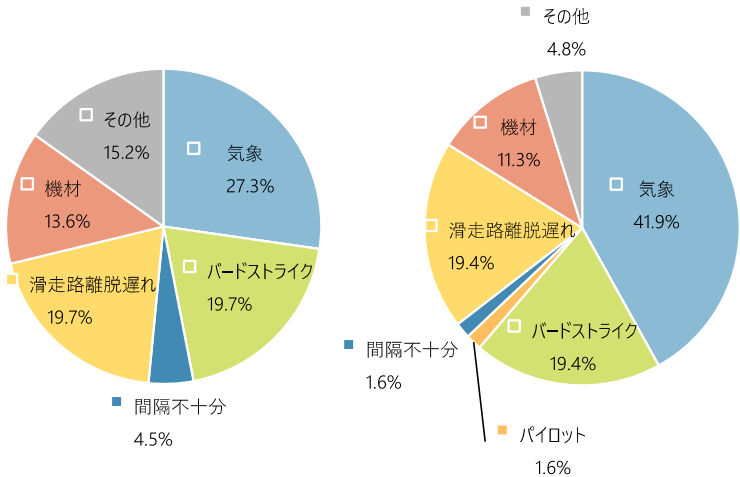
※当月委員会報告分

理由別割合（令和8年累計）

● A滑走路北向き着陸

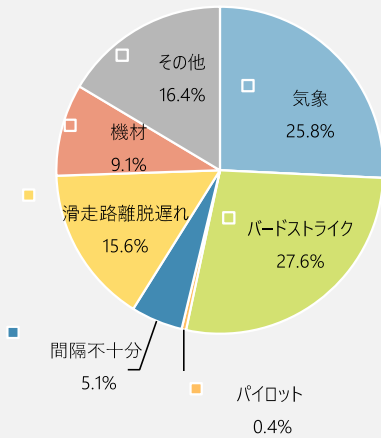
● B滑走路西向き着陸

● A・B滑走路合計



【参考】令和7年

450回（A滑走路北向き着陸：211回 B滑走路西向き着陸：239回）



令和8年4月の東京国際空港におけるゴーア라운드（A滑走路北向き着陸、B滑走路西向き着陸）について

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
1	R8.4.4	土	19:14	22	ANA658	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
2	R8.4.6	月	9:35	34L	ANA662	B763	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
3	R8.4.6	月	9:37	34L	SNJ92	B738	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
4	R8.4.6	月	9:39	34L	DLH716	B748	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
5	R8.4.6	月	14:32	22	JAL480	B738	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
6	R8.4.6	月	14:34	22	JAL646C	B763	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
7	R8.4.7	火	8:13	22	SKY100	B738	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	
8	R8.4.9	木	15:09	22	ANA996	B772	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	－	
9	R8.4.9	木	15:10	22	ANA254	B78X	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
10	R8.4.9	木	15:12	22	SIA632	A359	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
11	R8.4.9	木	15:14	22	ANA536	A321	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
12	R8.4.9	木	21:37	22	SKY024	B738	ウインドシア－	●	
13	R8.4.9	木	22:17	22	JAL266	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
14	R8.4.10	金	22:32	22	JAL638	B763	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
15	R8.4.10	金	22:33	22	SNJ80	B738	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
16	R8.4.11	土	10:56	34L	KAL2101	B78X	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
17	R8.4.13	月	12:45	22	JAL902	A359	機材トラブルのため	－	
18	R8.4.14	火	21:35	34L	ANA878	B788	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
19	R8.4.15	水	17:10	34L	ANA456	A321N	背風のため	－	
20	R8.4.15	水	17:17	34L	ANA680	B763	背風のため	－	
21	R8.4.16	木	13:18	34L	JAL96	B788	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	－	
22	R8.4.18	土	11:25	22	ANA454	A21N	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
23	R8.4.18	土	11:27	22	JAL152	B738	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
24	R8.4.18	土	11:29	22	SNJ74	B738	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
25	R8.4.18	土	18:52	22	JAL324	B738	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
26	R8.4.26	日	7:26	34L	ANA892	B78X	客室の着陸準備が整わなかったため	—	
27	R8.4.27	月	9:05	34L	ANA632	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
28	R8.4.27	月	18:29	34L	JAL914	A359	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
29	R8.4.28	火	19:48	22	SKY618	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
30	R8.4.29	水	18:51	34L	ANA648	A21N	風の影響のため	—	
31	R8.4.30	木	9:05	34L	ANA16	B789	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	—	
32	R8.4.30	木	9:06	34L	SNJ52	B738	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
33	R8.4.30	木	12:31	34L	JAL310	A359	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	

令和8年5月の東京国際空港におけるゴーア라운드（A滑走路北向き着陸、B滑走路西向き着陸）について

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
1	R8.5.1	金	8:50	34L	GIA874	A333	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	－	
2	R8.5.2	土	10:12	22	ANA1892	B738	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
3	R8.5.2	土	10:13	22	ANA460	B772	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
4	R8.5.2	土	10:16	22	ITY792	A359	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
5	R8.5.2	土	10:18	22	ANA634	A21N	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	－	
6	R8.5.2	土	12:25	22	SFJ22	A320	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
7	R8.5.3	日	13:36	22	CSN385	B77W	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
8	R8.5.3	日	19:15	22	ANA962	B789	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
9	R8.5.3	日	20:31	22	JAL286L	B763	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
10	R8.5.4	月	14:31	22	JAL646C	B763	ウインドシアー	●	
11	R8.5.4	月	19:06	22	JAL88	B788	ウインドシアー	●	
12	R8.5.4	月	19:35	22	CSN3085	A21N	ウインドシアー	●	
13	R8.5.5	火	22:11	22	ANA1096	B772	ウインドシアー	－	
14	R8.5.6	水	11:54	22	ANA972	B763	ウインドシアー	－	
15	R8.5.6	水	20:32	22	JAL286L	B763	ウインドシアー	●	
16	R8.5.7	木	7:58	34L	ANA412	A21N	他の航空機との間隔設定のため	－	
17	R8.5.7	木	10:42	22	AAR1085	A333	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
18	R8.5.10	日	11:02	22	KAL2101	B78X	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
19	R8.5.10	日	19:51	22	JAL86	B763	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
20	R8.5.11	月	19:58	22	SKY618	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
21	R8.5.12	火	20:02	22	JAL26	B789	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	
22	R8.5.14	木	17:46	34L	SFJ86	A320	他の航空機との間隔設定のため	●	
23	R8.5.15	金	9:01	34L	SAS983	A359	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	－	
24	R8.5.18	月	19:44	22	ANA700	A21N	風の影響のため	●	
25	R8.5.21	木	20:47	34L	CES575	B77W	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	－	

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
26	R8.5.22	金	17:54	34L	JAL320	A359	ウインドシア-	●	
27	R8.5.23	土	13:43	34L	SNJ34	B738	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	—	
28	R8.5.23	土	22:05	34L	XAX522	A333	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	—	
29	R8.5.23	土	22:07	34L	CAL222	A333	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
30	R8.5.23	土	22:08	34L	JAL654	B738	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
31	R8.5.23	土	22:09	34L	ANA272	B789	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
32	R8.5.24	日	19:26	34L	JAL71	B789	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	—	
33	R8.5.27	水	8:22	34L	JAL490	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
34	R8.5.29	金	12:32	34L	ANA386	A21N	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	—	
35	R8.5.30	土	9:47	22	JAL304	A359	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	—	
36	R8.5.30	土	18:16	22	KAL2103	B78X	後続機との間隔設定のため	—	

南風運用（15 時～19 時）に関わる騒音測定状況等について（令和 8 年 3 月）

羽田空港対策特別委員会 令和 8 年 6 月 23 日
まちづくり推進部 資料 3 番
所管 空港まちづくり課

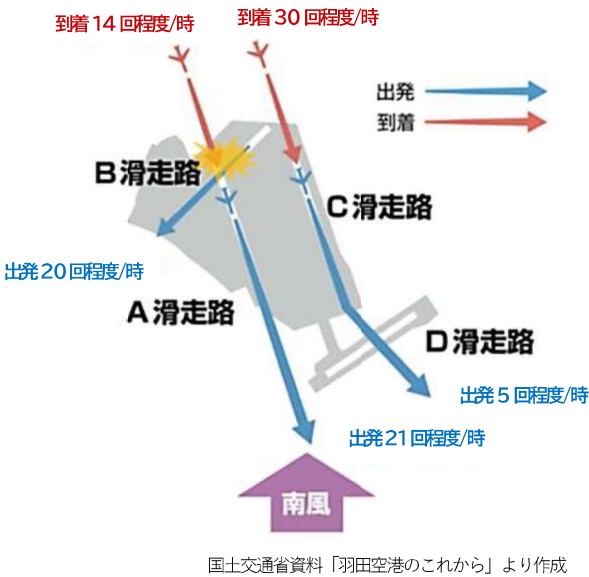
1 測定地点別騒音状況 月別一覧

- 大森第五小学校（大森本町 1-10-5） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	69.7	67.6	69.5									
最小値	58.5	58.8	57.6									
平均値	62.5	63.0	62.7									

- 羽田小学校（羽田 3-3-14） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	80.4	82.2	83.4									
最小値	62.0	62.5	64.5									
平均値	73.0	73.5	74.3									



2 滑走路別離発着回数 月別一覧

[単位：回]

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
滑走路	A 着陸	152	102	371										625
	B 離陸	236	154	530										920
	C 着陸	328	218	777										1323

※ 新飛行経路による運用は、令和 2 年 4 月 3 日より開始

南風運用（15 時～19 時）に関わる騒音測定状況等について（令和 7 年 1 月～12 月）

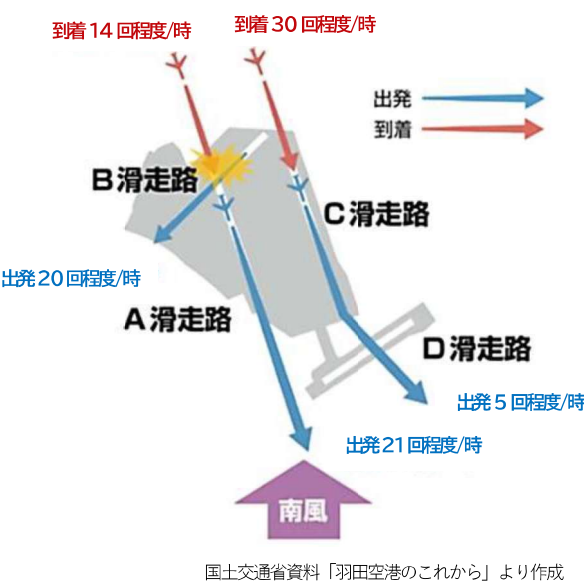
1 測定地点別騒音状況 月別一覧

● 大森第五小学校（大森本町 1-10-5） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	69.8	68.6	74.3	69.5	73.0	68.5	68.0	66.5	71.3	66.7	66.9	67.6
最小値	57.7	56.0	57.2	57.9	57.1	57.4	57.6	57.8	58.2	58.9	57.4	58.6
平均値	62.7	62.5	62.6	62.8	62.5	62.0	62.8	61.7	61.8	62.3	62.6	62.7

● 羽田小学校（羽田 3-3-14） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	82.9	83.4	84.6	87.2	85.6	85.0	85.0	84.1	84.8	82.6	80.3	83.2
最小値	63.8	61.7	62.4	63.5	61.5	62.3	61.1	57.3	57.6	64.9	64.8	65.2
平均値	73.8	74.0	74.2	74.9	74.2	73.7	74.1	73.4	73.6	74.1	73.8	73.9



2 滑走路別離発着回数 月別一覧

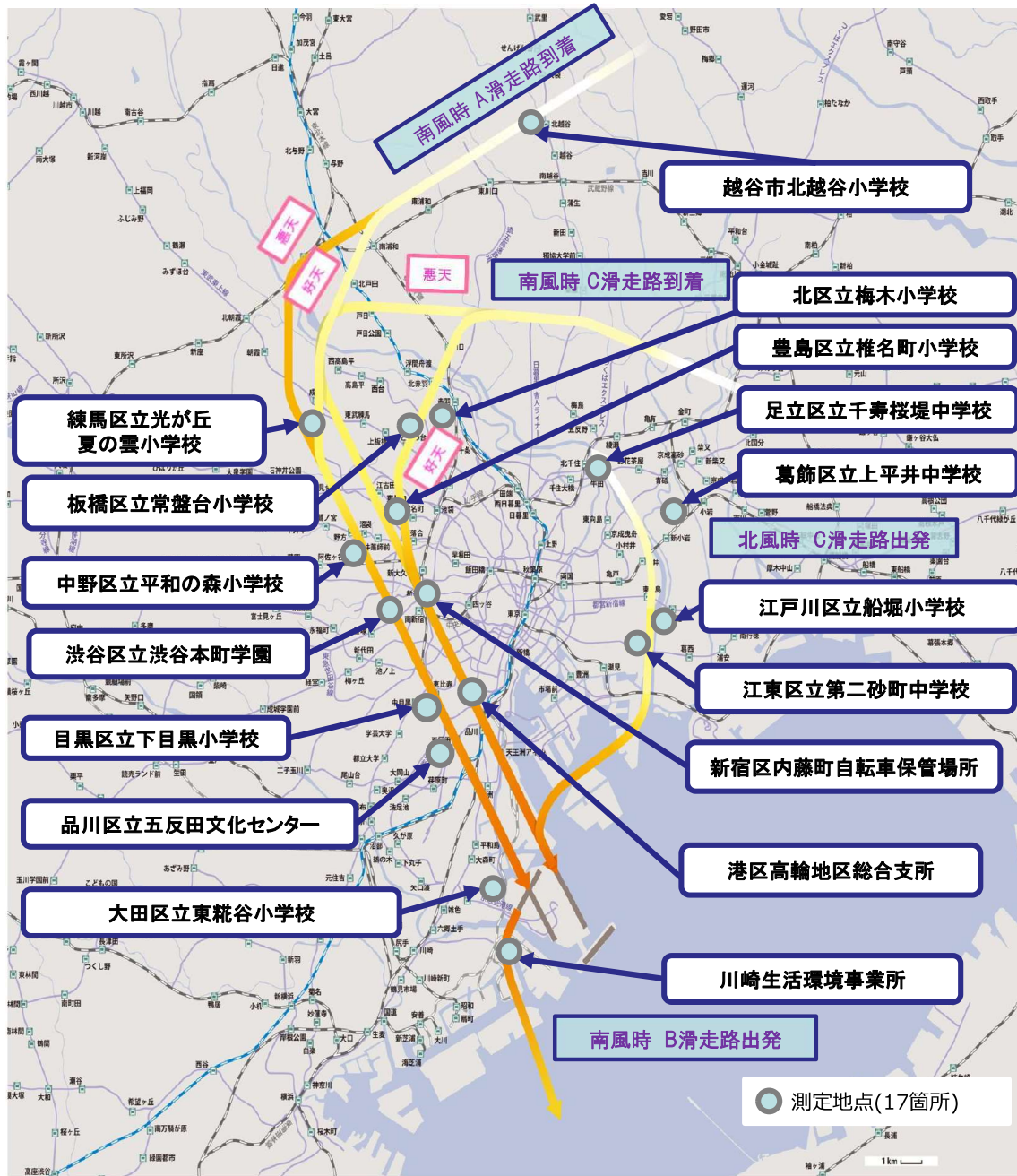
[単位：回]

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
滑走路	A 着陸	216	341	447	707	701	976	1,045	990	764	78	81	176	6,522
	B 離陸	291	469	607	975	936	1,322	1,451	1,340	1,024	106	112	265	8,898
	C 着陸	422	677	896	1,394	1,402	1,950	2,174	2,032	1,544	155	189	370	13,205

※ 新飛行経路による運用は、令和 2 年 4 月 3 日より開始

航空機騒音の短期測定結果(2025年11月実施)

航空機騒音の短期測定(2025年11月実施)について



➤ 航空機騒音の発生状況のきめ細かな把握のため、固定騒音測定局での測定に加えて、左図の地点（東京都15箇所、神奈川県1箇所、埼玉県1箇所）において11月1日から11月7日まで1週間にわたって航空機騒音の測定を実施。

【測定期間中(11月1日～11月7日)の運用状況】

- ・北風新飛行経路
11月1日～11月7日
C離陸 981機
- ・南風新飛行経路
11月2日
A着陸 43機
C着陸 94機
B離陸 56機

➤ 各測定地点における測定結果は次ページのとおり。機体サイズ別の実測値の平均と、住民説明会等でお示した推計平均値を比較したところ、約90%は推計平均値と同等又はそれ以下という結果となった。

測定地点ごとの実測値の平均と推計平均値の比較

実測値の平均と推計平均値を比較すると、**同等:26地点(67%)、推計平均値以上:4地点(10%)、推計平均値以下:9地点(23%)**

※実測値:各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値

※「実測値の平均」の小数点を切り上げて、「推計平均値」と比較

推計平均値以上

推計平均値以下

単位: dB

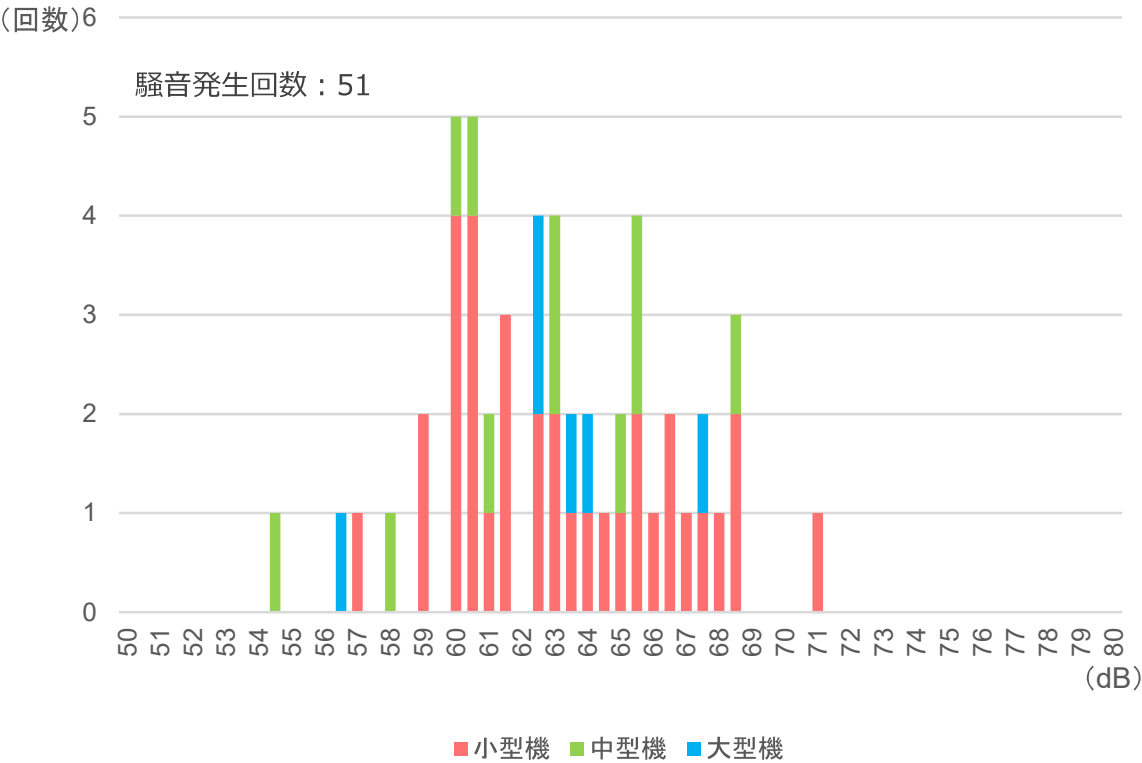
測定地点	大型機		中型機		小型機	
	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1
船堀小学校(江戸川区)【C離陸】	68.2	74～68	64.8	73～61	65.6	71～65
第二砂町中学校(江東区)【C離陸】	68.3	77～68	65.4	76～61	65.9	74～65
上平井中学校(葛飾区)【C離陸】	63.6	—	60.8	—	61.5	—
千寿桜堤中学校(足立区)【C離陸】	65.4	—	64.6	—	64.4	—
川崎生活環境事業所(川崎市)【B離陸】	81.4 ▲4	91～86	80.6	—	79.9 ▲1	86～81
東糀谷小学校(大田区)【B離陸】	63.9	—	63.9	—	64.8	—
北越谷小学校(越谷市)【A着陸】	59.9 ▲5	68～65	61.1	64～58	59.7	65～56
梅木小学校(北区)【C着陸】	59.8 ▲6	68～66	58.2 ▲1	64～60	58.6	65～58
常盤台小学校(板橋区)【C着陸】	64.3 ▲1	68～66	63.3	64～60	64.0	65～58
光が丘夏の雲小学校(練馬区)【A着陸】	62.2 ▲3	66	61.4	63～60	61.9	64～58
椎名町小学校(豊島区)【C着陸】	65.1 ▲1	69～67	65.4 +1	65～61	64.0	66～59
内藤町自転車保管場所(新宿区)【C着陸】	70.0	72～68	68.7 +1	68～63	66.9	69～61
平和の森小学校(中野区)【A着陸】	66.0 ▲1	70～67	62.2	66～61	62.3	67～59
渋谷本町学園(渋谷区)【A着陸】	68.4	72～68	65.5	68～63	63.5	69～61
下目黒小学校(目黒区)【A着陸】	69.4	71～68	68.6	—	68.4 +4	65～60
高輪総合支所(港区)【C着陸】	75.0	76～73	73.8	74～69	72.2	73～68
五反田文化センター(品川区)【A着陸】	68.0	73～68	67.7	—	66.2 +1	66～61
計 17測定地点	同等	7地点(50%)		8地点(73%)		11地点(79%)
	推計平均値以上	0地点(0%)		2地点(18%)		2地点(14%)
	推計平均値以下	7地点(50%)		1地点(9%)		1地点(7%)

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、各測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

【短期測定結果(2025年11月)】大田区立東糀谷小学校

- 飛行経路と測定地点の位置関係等
 - ・B滑走路西向き離陸機の音を測定。
 - ・A滑走路着陸経路からは側方2km程度に位置しており、高度が低くなるにつれ、側方での音は小さくなるため、着陸機の音は測定されていない。

- 実測値の分布
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均
大型機	63.9
中型機	63.9
小型機	64.8
全体	64.5

Lden ※2	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	平均
	—	39.8	—	—	—	—	—	31.4

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

令和8年1月 大田区航空機騒音固定調査月報(確定)

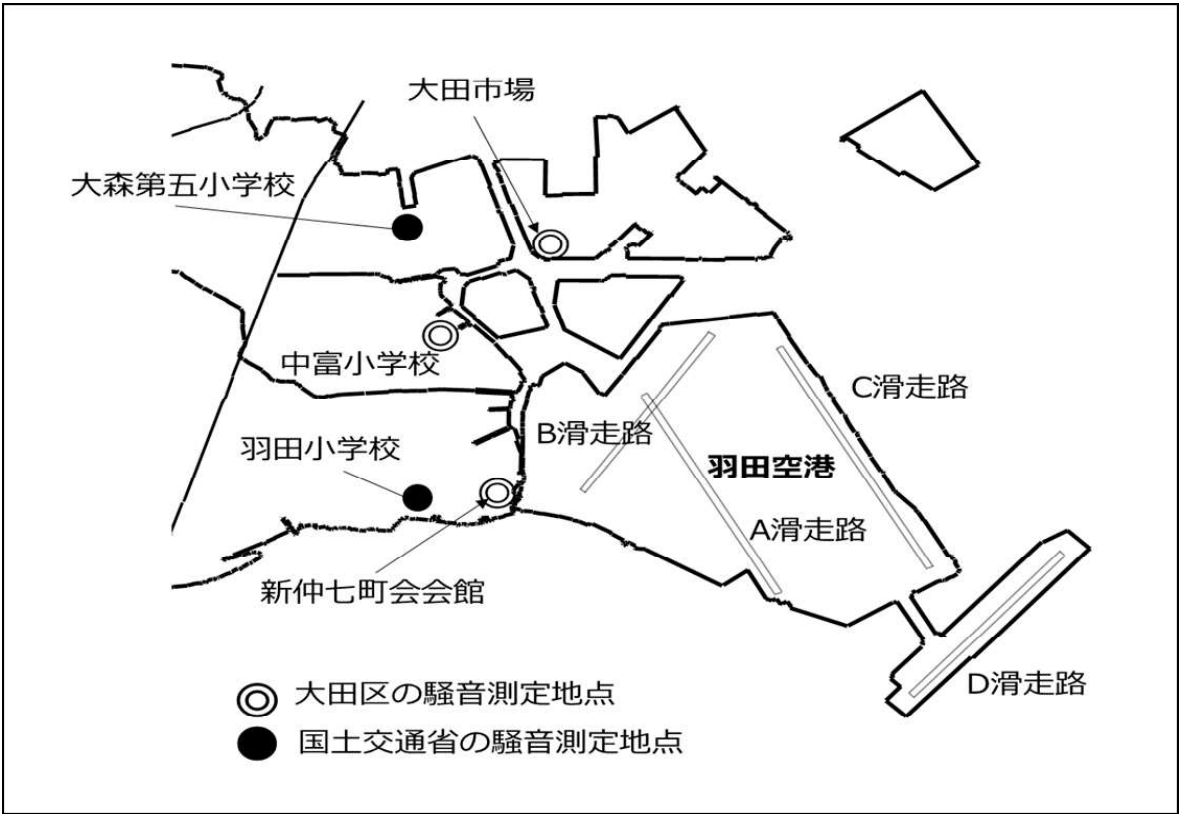
測定地点	L_{den}		騒音レベル		測定回数					測定 日数
	測定値 (dB)	環境 基準値 (dB)	最大値 (dB)	最小値 (dB)	0時 ～ 7時	7時 ～ 19時	19時 ～ 22時	22時 ～ 0時	合計	
大田市場	55	62 以下	82.2	59.5	264	2,319	611	326	3,520	31
中富小学校	47	57 以下	79.9	50.2	280	2,298	743	290	3,611	31
新仲七町会会館	49	57 以下	84.9	53.7	163	1,771	305	99	2,338	31

※ 測定期間：令和8年1月1日～1月31日

※ 「航空機騒音測定・評価マニュアル」(令和2年3月 環境省)に準じて行った。

※ 騒音レベルは測定した航空機騒音の最大値及び最小値である。(ヘリコプターを除く)

航空機騒音測定地点の位置図



※環境基準 L_{den} について

環境基本法 16 条では、「騒音に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、及び生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準を定めるものとする」(一部抜粋)と規定しています。これを基に、地域の類型に合わせ、次の基準値を定めています。

類型Ⅰ 住居専用地域等 57dB 以下

類型Ⅱ 上記以外 62dB 以下

航空機内陸飛行騒音調査について

1 調査概要

大田区の内陸部を飛行する航空機の騒音、騒音発生回数、運行状況、飛行高度を把握する為、一週間の短期測定により内陸飛行騒音調査を行った。

2 調査場所

矢口小学校
 (多摩川一丁目 18 番 22 号)

3 調査期間

令和 7 年 11 月 9 日～11 月 15 日
 (北風運用時)



4 調査結果

(1) 内陸飛行を行った航空機の騒音

(暗騒音+10dB (A) 以上の測定地点を通過した航空機を対象)

測定地点 (矢口小学校)	L_{den} [dB]	WECPNL	最大値 [dB]	最小値 [dB]	測定回数				測定 総数	測定 日数
					0～7 時[回]	7～19 時[回]	19～22 時[回]	22～0 時[回]		
令和 7 年度	22.7	32.1	60.5	54.4	0	10	0	0	10	7
(参考) 令和 6 年度	30.8	40.1	61.9	54.0	2	16	6	0	24	7

(2) 経年変化

調査期間中に、北風運用に限った場合の L_{den} が大きい 3 日間の平均を算出し、過去 10 年分の L_{den} と比較をした。令和 2 年度から令和 6 年度までの L_{den} に大きな変化はなかったが、令和 7 年度は 26.2dB と令和 6 年度の 34.0dB に対して 7.8dB 下回る結果となった。

(3) 内陸飛行における航空機の高度分布

例年と同様、調査期間内に内陸飛行を行ったすべての航空機が、航空標識 KAMAT 近傍において 9,000 フィート (約 2,750m) 以上で飛行していた。

令和 7 年度羽田空港航空機内陸飛行騒音調査 報告書

令和 8 年 3 月

大田区資源環境部環境政策課

目 次

項 目	ページ
第 1 調査目的	1
第 2 調査概要	1
1 調査期間	1
2 調査地点	1
3 調査項目	3
第 3 航空機騒音の測定方法	4
1 測定機器	4
2 測定方法	4
第 4 調査結果	5
1 大田区に内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果	5
2 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合	6
3 調査期間中の天候	7
4 経年変化	7
5 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度分布	8
6 まとめ	10

第1 調査目的

平成20年9月に横田空域の一部が返還された。これに伴い、北風運用時において西方面に向かう航空機の一部が、区内上空に位置する航空標識の「KAMAT」を経由し、多摩川沿いの府中市方面「SEKID」（現「LAYER」）に向かう航路が内陸飛行として開始された。

本調査は、羽田空港から離陸する航空機のうち、D滑走路供用開始後において大田区内陸部に進入する航空機の騒音影響、機種情報、飛行高度及び飛行回数等を把握することを目的としている。

第2 調査概要

1 調査期間

令和7年11月9日から11月15日まで

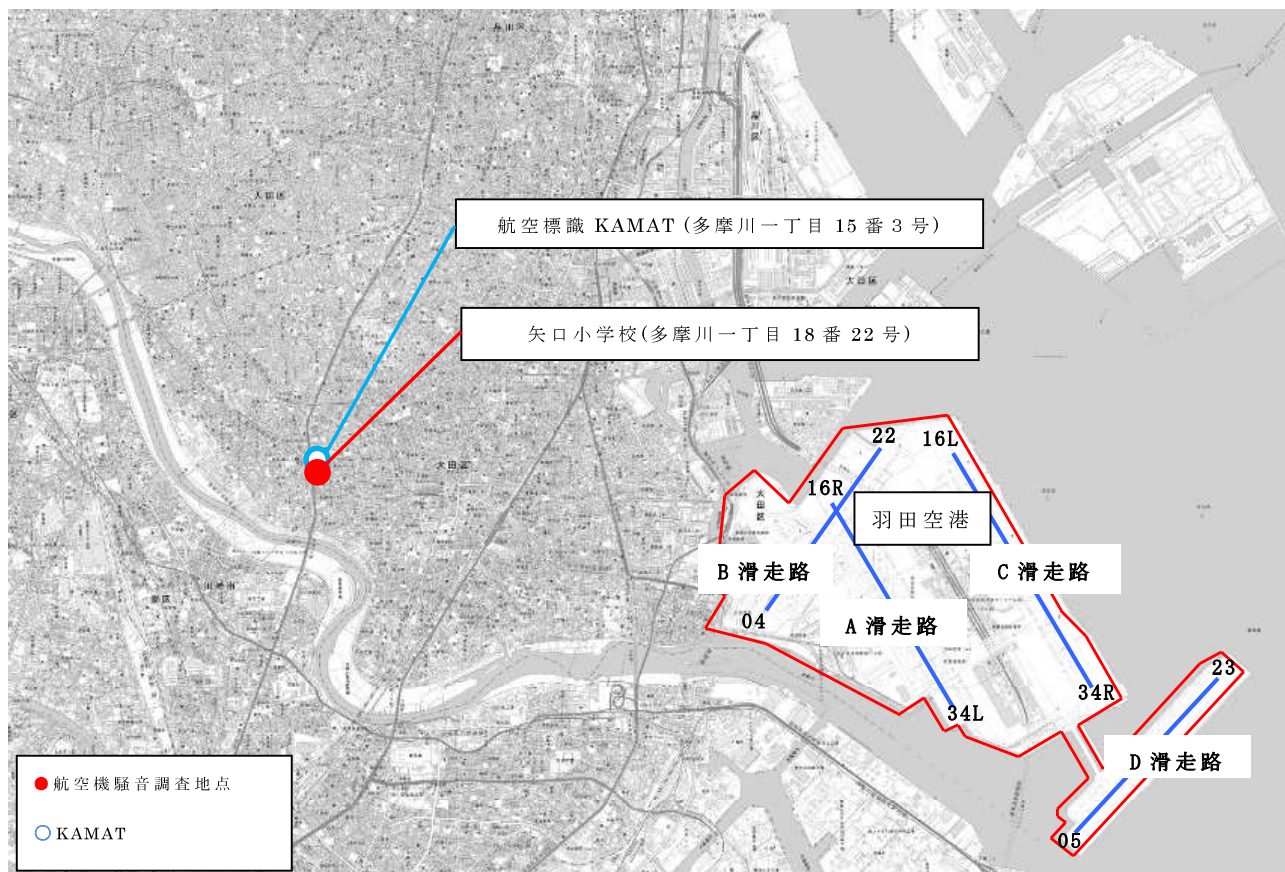
2 調査地点

(1) 航空機騒音調査地点

航空機騒音調査地点を表2-2.1、図2-2.1に示す。

表2-2.1 航空機騒音調査地点

測定地点	住 所
矢口小学校	多摩川一丁目18番22号



国土地理院の電子地形図 25000 に「調査地点」を追記して掲載

図 2-2.1 調査地点

3 調査項目

航空機騒音調査

羽田空港を 05 離陸または 16R 離陸後、主にウェイポイント「KAMAT」から「LAYER」を西方向に通過する経路で、一般財団法人航空保安研究センターより入手したレーダー航跡（以下「ATSRI 航跡」という。）において大田区区域内を飛行（以下「内陸飛行」という）する航空機の騒音を矢口小学校の 1 ヶ所で測定した。

また、最大騒音レベル及び単発騒音暴露レベル L_{AE} の記録をもとに、測定日ごとの下記の事項を算出すると共に全測定期間（7 日間）のデータについても算出した。

- ア 暗騒音に対し 10dB(A) 以上の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、データの中の最大値と最小値及び測定データ数
- イ 暗騒音に対し 4 dB(A) 以上の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、データの中の最大値と最小値及び測定データ数
- ウ 上記アについての評価量として、 L_{den} 及び WECPNL

第3 航空機騒音の測定方法

航空機騒音の測定方法は、原則として「航空機騒音監視測定マニュアル」（昭和63年7月環境庁大気保全局）または「航空機騒音測定・評価マニュアル」（令和2年3月環境省）に準じて行った。

ただし暗騒音から10dB(A)以上とならない騒音であっても人が耳で識別できる航空機騒音については測定対象とした。

1 測定機器

測定に使用した機器は、表3-1.1のとおりである。

表 3-1.1 測定使用機器

機器名	型式	機能	メーカー
精密騒音計	LA-4440	騒音レベルの測定	(株)小野測器
音響校正器	SC-2500	騒音計のレベルを確認する 基準音源	(株)小野測器
全天候防風スクリーン	LA-0207	マイクロホンを風雨の影響 から軽減する	(株)小野測器
航空機接近検知識別装置	RD-90	航空機が発する航空機識別 番号・高度情報の取得	日本音響 エンジニアリング(株)
航空機最接近検知識別装置	RD-100	航空機が発する電波により 最接近時刻の取得	日本音響 エンジニアリング(株)
航空機騒音自動測定装置	DL-100	データの記録装置	日本音響 エンジニアリング(株)

2 測定方法

各調査地点に航空機騒音の識別機能を有する自動測定装置を設置し、航空機通過時の最大騒音レベルとその発生時刻、騒音継続時間、直前の暗騒音レベル、1秒ごとの等価騒音レベル（1秒間 L_{Aeq} ）、単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を記録した。航空機の識別は、航空機騒音と同時に記録される航空機のトランスポンダ応答信号を用いた。暗騒音は最大騒音レベルが観測される直前300秒間の時間率騒音レベル L_{A90} とした。

また、収録されたデータが航空機騒音かどうかを後日確認出来るように、実音も併せて記録した。

第4 調査結果

1 大田区に内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果

測定地点の7日間の L_{den} を算出した結果を表4-1.1に示す。表には、 L_{den} 、WECPNL、最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、全データ中の最大値及び最小値、時間帯別の測定回数を記載している。

なお L_{den} 及びWECPNLについては、測定日別に算定した値をパワー平均した結果である。

また測定地点別に人が耳で識別できる航空機騒音の数に着目し、自動測定の閾値（暗騒音+4 dB(A)）を超えた航空機騒音の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、全データ中の最大値及び最小値、時間帯別の測定回数を表4-1.2に示す。

表 4-1.1 航空機騒音調査結果
(暗騒音+10dB(A)以上の測定地点を通過した航空機を対象)

測定地点 (矢口小学校)	L_{den} [dB]	WECPNL	パワー平均 [dB(A)]	標準偏差 [dB(A)]	最大値 [dB(A)]	最小値 [dB(A)]	測定回数				測定 回数	測定 日数
							0～7時 [回]	7～19時 [回]	19～22時 [回]	22～24時 [回]		
令和7年度	22.7	32.1	57.6	1.81	60.5	54.4	0	10	0	0	10	7
(参考) 令和6年度	30.8	40.1	58.2	2.12	61.9	54.0	2	16	6	0	24	7

表 4-1.2 航空機騒音調査結果
(人が耳で識別できる航空機騒音の数に着目し分析)

測定地点 (矢口小学校)	パワー平均 [dB(A)]	標準偏差 [dB(A)]	最大値 [dB(A)]	最小値 [dB(A)]	測定回数				測定 回数	測定 日数
					0～7時 [回]	7～19時 [回]	19～22時 [回]	22～24時 [回]		
令和7年度	55.5	2.31	60.5	50.3	0	25	5	0	30	7
(参考) 令和6年度	57.1	2.34	61.9	50.6	2	41	10	0	53	7

- ※ パワー平均：最大騒音レベルのパワー平均値[dB(A)]
最大値、最小値：最大騒音レベルの全データの最大値、最小値[dB(A)]
- ※ 05 離陸及び16R 離陸し、大田区区域内を飛行した航空機（ATSRI 航跡をGISにて判定）の通過音を対象とした。（表4-1.1は暗騒音に対し10dB(A)以上、表4-1.2は暗騒音に対し4dB(A)以上のデータについて分析を行った。）
- ※ 航空機騒音監視測定マニュアル(昭和63年7月 環境庁大気保全局)では、「ピークレベルが暗騒音レベルより10dB以上大きいかどうかチェックする。」とあり、表4-1.2では暗騒音より10dB(A)未満のデータも含まれるためWECPNLは算出しなかった。また航空機騒音測定・評価マニュアル(令和2年3月 環境省)では、「騒音レベルの最大値が暗騒音より10デシベル以上大きい航空機騒音について」とあり、暗騒音より10dB(A)未満のデータも含まれるため、単発騒音暴露レベル L_{AE} は算出しなかった。

2 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合

令和7年度に大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数と割合を表4-2.1、図4-2.1に示す。

大田区の上空を通過する航空機は、05(D滑走路北側離陸)の運用が多く占めている。

表4-2.1 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数と割合

滑走路	測定日 [機]							合計 [機]
	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	
05	11	19	8	6	13	10	6	73
16R	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	11	19	8	6	13	10	7	74

滑走路	測定日 [%]							合計 [%]
	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	
05	100%	100%	100%	100%	100%	100%	86%	99%
16R	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※ 16R:A滑走路南側離陸 05:D滑走路北側離陸

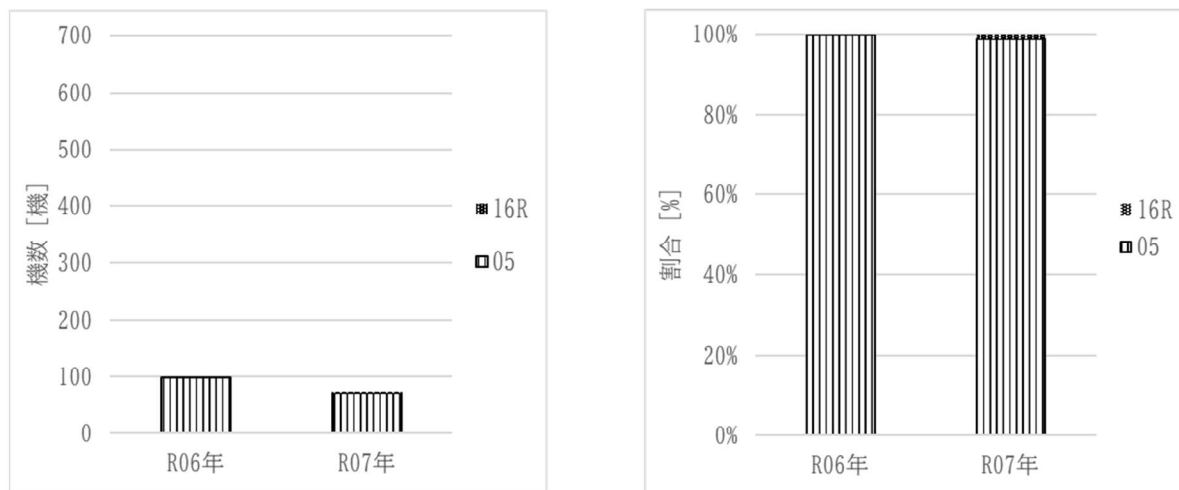


図4-2.1 大田区に内陸飛行を行った航空機の使用滑走路毎の機数と割合
(1週間まとめ 左:機数 右:割合)

※機数については令和6年度より、05離陸および16R離陸し大田区区域内を飛行した航空機(ATSRI航跡をGISにて判定)について集計を行っている。

3 調査期間中の天候

調査期間中の天候を表 4-3-1 に示す。

表 4-3-1 調査期間中の天候

11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日
曇 北北西	雨後曇 北北西	薄曇 北西	薄曇後一時 晴 南南東	薄曇 北北西	薄曇 北東	曇 北北東

※上記天気・風向の測定場所：千代田区北の丸公園 2・1 科学技術館(屋上)

測定機関：国土交通省 気象庁 東京管区气象台

※天気については 6～18 時の概況、風向については最多風向を表示。

4 経年変化

大田区の内陸側への飛行は主に北風運用の場合が多い。そこで北風運用に限った場合の L_{den} が大きい 3 日間の平均を算出した。表 4-4.1、図 4-4.1 に結果を示す。

表 4-4.1 北風運用に限った場合の
航空機騒音調査結果の経年比較 (L_{den} [dB])

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和01年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
矢口小学校	40.1	41.9	44.4	42.0	33.7	34.3	34.2	32.7	34.0	26.2

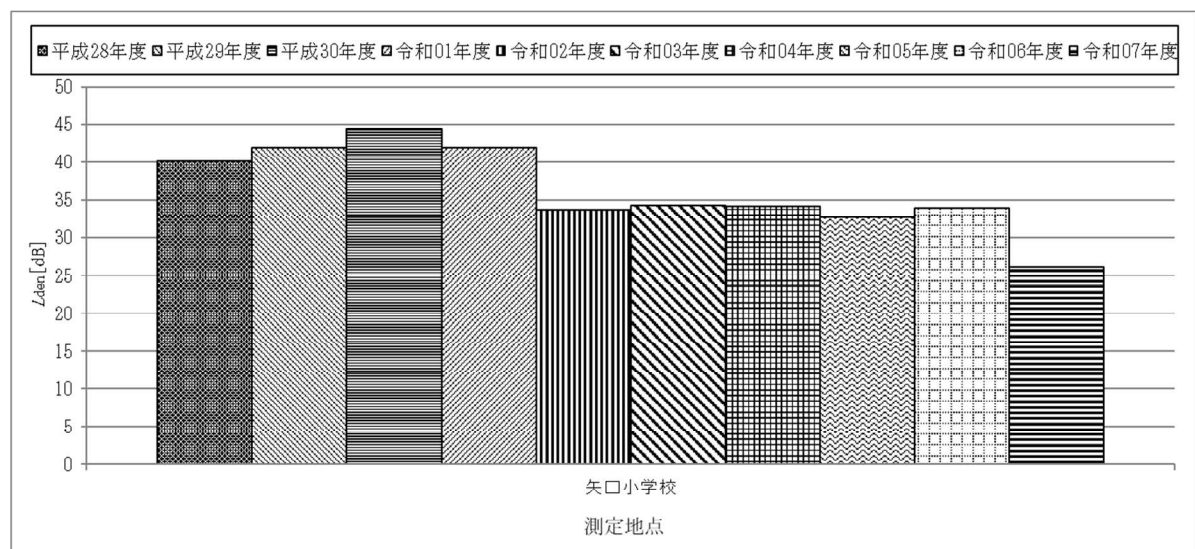


図 4-4.1 北風運用に限った場合の
航空機騒音調査結果の経年比較 (L_{den} [dB])

※令和 5 年度は、矢口小学校近傍にて解体工事が行われていた為、矢口東小学校で測定を実施。

5 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度分布

(1) 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の分布（機数）

内陸飛行を行った航空機の各測定点における高度の度数分布(機数)を表 4-5.1 に示す。

表 4-5.1 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の度数分布（単位：機）

データ 区間[m]	矢口小学校									
	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
1500 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1750 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2000 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2250 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2500 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2750 ≦	12	8	3	2	2	0	1	0	6	0
3000 ≦	63	43	53	47	16	12	10	10	18	8
3250 ≦	144	85	134	101	36	26	16	18	27	20
3500 ≦	88	130	156	162	32	42	52	15	20	20
3750 ≦	48	65	58	79	22	20	21	13	7	11
4000 ≦	27	35	29	36	8	18	25	4	9	8
4250 ≦	15	9	17	20	3	7	12	4	8	2
4500 ≦	4	12	9	18	4	7	15	1	0	3
4750 ≦	2	7	1	7	2	4	4	0	0	1
5000 ≦	2	0	2	3	0	2	1	1	3	0
5250 ≦	0	0	0	5	0	0	2	0	0	1
5500 ≦	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

※ 表中のハッチングをした部分は、矢口小学校(航空標識 KAMAT 近傍)以降で

9000 フィート(約 2750m)未満を示す。

※05 離陸および 16R 離陸し、大田区区域を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）

が KAMAT に最接近したときの ATSRI 航跡の気圧補正済高度を集計。

※2750m の項目には、2750m 以上 3000m 未満の頻度を集計

※機数については令和 6 年度より、05 離陸および 16R 離陸し大田区区域内を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）について集計を行っている。

※令和 5 年度までは、05 離陸および 16R 離陸し行先が RJFF, RJFU, RJOA, RJFO, RJFR, RJOI, RJOM, RJOT のいずれかについて集計を行っている。

※令和 5 年度は、矢口小学校近傍で解体工事があった為、矢口東小学校で測定を実施

(2) 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の分布（割合）

各年度に内陸飛行を行った航空機の機数は異なる。そこで比較しやすくするために、各年度の飛行回数を各年度の全総機数で割った割合を度数分布で表したものを表 4-5.2 に示す。

表 4-5.2 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の度数分布（単位：％）

データ 区間[m]	矢口小学校									
	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
1500 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
1750 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2000 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2250 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2500 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2750 ≦	3%	2%	1%	0%	2%	0%	1%	0%	6%	0%
3000 ≦	16%	11%	11%	10%	13%	9%	6%	15%	18%	11%
3250 ≦	36%	22%	29%	21%	29%	19%	10%	27%	28%	27%
3500 ≦	22%	33%	34%	34%	25%	30%	33%	23%	20%	27%
3750 ≦	12%	16%	13%	16%	17%	14%	13%	20%	7%	15%
4000 ≦	7%	9%	6%	8%	6%	13%	16%	6%	9%	11%
4250 ≦	4%	2%	4%	4%	2%	5%	8%	6%	8%	3%
4500 ≦	1%	3%	2%	4%	3%	5%	9%	2%	0%	4%
4750 ≦	0%	2%	0%	1%	2%	3%	3%	0%	0%	1%
5000 ≦	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	2%	3%	0%
5250 ≦	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	1%
5500 ≦	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%

※ 表中のハッチングをした部分は、矢口小学校（航空標識 KAMAT 近傍）以降で 9000 フィート（約 2750m）未満を示す。

※ 05 離陸および 16R 離陸し、大田区区域を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）が KAMAT に最接近したときの ATSRI 航跡の気圧補正済高度を集計。

2750m の項目には、2750m 以上 3000m 未満の頻度を集計

※ 令和 5 年度は、矢口小学校近傍で解体工事があった為、矢口東小学校で測定を実施

6 まとめ

(1) 内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果について

令和 7 年度の矢口小学校の L_{den} 値は 22.7dB であった。7 日間の調査結果では、日別 L_{den} が 18.2~29.0dB、暗騒音から 10dB(A) 以上の測定回数は 10 回、人が耳で感じられた数（暗騒音から 4 dB(A) 以上）は 30 回であった。

(2) 内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合について

調査を開始した平成 22 年度(D 滑走路供用開始後)から令和 2 年度までは、D 滑走路北側離陸（05T）の運用で統一されていた。

令和 3 年度の調査において南風運用である A 滑走路南側離陸（16RT）での内陸飛行が観測されたが、令和 7 年度は 1 機のみ観測された。

また、内陸飛行で騒音が観測された航空機においては、福岡行きのみが観測された。

(3) 経年変化について

内陸飛行を行った 3 日間のデータを集計し、 L_{den} 値を算出した。

L_{den} 値は令和 7 年度が 26.2dB であった。令和 6 年度の 34.0dB に対して 7.8dB 下回る結果となった。

(4) 内陸飛行における航空機の高度分布について

矢口小学校（航空標識 KAMAT 近傍）については、例年と同様に令和 7 年度の内陸飛行騒音調査において、9,000 フィート（約 2,750m）以上で飛行していた。

羽田イノベーションシティにおける取組報告について

1 今後の主な予定等

(1) HICity 全体

ア HICity×KINGSKYFRONT 連携イベント

- ・日時：令和8年7月7日（火）15：45～17：15
- ・内容：大田区、川崎市の臨海部の未来をテーマとして、両自治体の臨海部の取組や、各拠点における医療・ライフサイエンス分野の取組等について意見交換を行い、新たな価値創出に向けた契機とすることを目指すイベント。オンライン配信も実施予定。
- ・対象：大田区、川崎市に立地する企業、HICity 及び KINGSKYFRONT 立地機関

(2) 区施策活用スペース「HANEDA×PiO」

ア PiO PARK の催し

(ア) 令和8年度第1回カフェ交流会

- ・日時：令和8年6月24日（水）12：25～12：55
- ・内容：HICity、HANEDA×PiO、PiO PARK の入居企業間の交流促進を目的とした交流会。PiO PARK にて、参加各社による挨拶や事業紹介などを実施し、普段は接点の少ない企業同士の繋がりを創出する。ビジネスにおける連携機会のほか、日常的なコミュニケーションや気軽な情報交換ができる関係づくりを目指す。

(イ) PiO PARK X 2026（大田区・大田まちづくり公社共催）

- ・日程：令和8年7月18日（土）～19日（日）10：00～17：00
- ・内容：HANEDA×PiO 入居企業、PiO PARK 利用企業、HICity 入居企業等によるワークショップや学習・運動体験コーナー等により、SDGsをはじめ遊びながら学べ、夏休みの自由研究にも役立つ参加型イベントを実施する。
- ・対象：主に就学前のお子様から小・中学生と保護者など

(ウ) HANEDA 共創プラットフォーム「Haneda Next Makers -VF2026 シリーズ- 第1回(仮)」(事務局 大田区産業振興協会)

- ・日時：令和8年7月21日(火) 15:00~17:00
- ・内容：昨年度まで全20回開催したベンチャーフレンドリー塾をアップデートしたスタートアップ連携新プロジェクトの第1回勉強会を開催する。プロジェクトを通じて、羽田からの未来のものづくりビジネス発展や、具体的な連携創出増加にフォーカスし、区内ものづくり企業をはじめ、区内外のスタートアップ企業や創業予定者、金融機関、VC・CVC、インキュベーション施設など多様な主体との連携を促進し、新たなイノベーション創出やビジネスチャンス獲得を加速する。

2 直近に実施した主な催し

(1) 区施策活用スペース「HANEDA×Pi0」

ア Pi0 PARK の催し

(ア) HANEDA×Pi0 関係団体交流会(大田まちづくり公社主催)

- ・日時：令和8年5月13日(水) 12:00~12:50
- ・内容：HANEDA×Pi0 入居テナントと関係3団体(大田区、大田区産業振興協会、大田まちづくり公社)が一同に会し、本年度予定している事業等の情報共有や意見交換を行った。
- ・参加者：23名(うち入居テナント7社9名)



「HANEDA×Pi0 関係団体交流会」の様子

(イ) チェリーブラッサムイベント

- ・日時：令和8年5月18日（月）17：00～18：00
- ・内容：ウィーン国際空港に植えられた日本の桜が満開になるタイミングで開催される日本・オーストリアのビジネス・文化的な連携を深めるイベント（会場はウィーン国際空港）が開催された。2023年、協会とウィーンエアポートシティ・イベント社は、PiO PARKとウィーン国際空港内ビジネススペースの相互無料利用の同意書を締結しており、PiO PARK およびショーケーシング展示についてオンラインで紹介した。現地では企業関係者や行政機関、スタートアップ関係者など多数が参加し、区内企業の優れた製品や技術に高い関心が寄せられた。
- ・参加者：約60名



「チェリーブラッサムイベント」の様子

(ウ) レアアース泥・マンガノジュール開発推進コンソーシアム 部会4

- ・日時：令和8年5月28日（木）14：00～16：00
- ・内容：本コンソーシアムは、深海鉱物資源のレアアース泥とマンガノジュールの開発・商用化を目指し、東京大学の研究グループが中心となって運営している産官学連携組織であり、残泥処理・再資源化技術を検討する部会4のミーティングを今年度初開催した。今年2月、レアアース泥試掘に成功したことで部会への参加企業が増加。改めて、これまでの活動内容が説明されるとともに今後の活動について、従前からの部会員である産業振興協会も加わり議論を交わした。
- ・参加者：22名